

(別紙)

令和6年度障害福祉分野の介護テクノロジー導入支援事業（ICT導入事業） 事業報告書

自治体名 千葉県

【基本情報】

フリガナ	ゴウドウカ イマネクスト
法人名	合同会社NEXT
フリガナ	グループ ホームメイブル
事業所名	グループ ホームメイブル
提供サービス（複数のサービスを提供している場合は、主たる1つのみ選択）	
共同生活援助	
職員数（常勤換算数）【「全職員の月間勤務時間数」／「常勤職員の月間勤務時間数」にて算出（産休・育休、休職は除く）】	
10.2人	
ICT機器等導入完了日	令和7年 3月 26日

※行・列の追加は行わないでください。

(1) 事業の実施以前における当該事業所のICT機器等の導入・活用状況

業務内容	ICT機器等の導入・活用状況
支援記録の作成	②一部、ICT機器等を導入している（紙とICT機器等の両方で事務作業を行って
職員間の情報伝達・情報共有	②一部、ICT機器等を導入している（紙とICT機器等の両方で事務作業を行っ
請求業務	②一部、ICT機器等を導入している（紙とICT機器等の両方で事務作業を行っ
勤怠管理	③ICT機器等を導入している（多くの事務作業が電子化されている）
シフト表作成	②一部、ICT機器等を導入している（紙とICT機器等の両方で事務作業を行っ
給与業務	③ICT機器等を導入している（多くの事務作業が電子化されている）

※「業務内容」に応じ、ICT機器等の導入・活用状況を選択してください。

①ICT機器等を導入していない（紙のみで対応）

②一部、ICT機器等を導入・活用している（紙とICT機器等で対応）

③ICT機器等を導入・活用している（全てICT機器等で対応）

(2) 事業実施によるICT機器等の導入状況

ICT機器等の種別	導入目的	製品名	台数	備考
①パソコン	①作業の迅速化	ノートパソコン LIFEBOOK A5513/RX	3	
③タブレット	①作業の迅速化	タブレット LenovoTAB7	3	

※「ICT機器等の種別」については次の中から選択し、その種別ごとに導入目的、製品名、台数等を記載してください。

- ・情報端末等・・・①パソコン、②スマートフォン、③タブレット、④インカム
- ・ソフトウェア・・・⑤記録・情報共有・請求関連業務ソフト、⑥勤怠管理・シフト表作成・人事給与関連業務ソフト
- ・通信環境機器・・・⑦Wi-Fi・ルーター

なお、「⑧その他」を選択した場合には、「備考欄」に、ICT機器等の種別を記載してください。

※「導入目的」については、次の中から特に該当する番号を選択してください。

- ①作業の迅速化（支援記録の作成など）
- ②情報の共有化（職員間の情報伝達・情報共有など）
- ③業務の統合化（請求業務、勤怠管理、シフト表作成、給与業務など）
- ④その他

なお、「④その他」を選択した場合には、「備考欄」に、導入目的を記載してください。

(3) 事業を活用して改善を図った業務におけるICT機器等の導入前後の業務時間、作成文書量の状況

① ICT機器等導入前の業務時間内訳

業務内容	業務従事者数	発生件数		C.1件当たりの 平均処理時間	年間業務時間 D (B×C)	1人あたり 業務時間 (D／業務従事者数)	備 考
		A.ひと月当たり 発生件数	B.年間発生件数 (A×12)				
①支援記録の作成	10人	3件	36件	450分	270時間	27時間	
②職員間の情報伝達・情報共有	10人	3件	36件	150分	90時間	9時間	
③請求業務	10人	3件	36件	90分	54時間	5時間	
			0件		0時間		
			0件		0時間		
		9件	108件	690分	414時間	41時間	

※「具体的な業務内容」については、①支援記録の作成、②職員間の情報伝達・情報共有、③請求業務、④勤怠管理、⑤シフト表作成、⑥給与業務、⑦その他から選択してください。
なお、「その他」を選択した場合には、「備考欄」に、業務内容を記載してください。

以下の※1及び※2については、ICT機器等導入前の実際の業務状況に即した算出をお願いします。

<※1>A. ひと月当たり発生件数の算出方法

ご利用者さんが3人のため

<※2>C. 1件当たりの平均処理時間の算出方法

ご利用者1人あたりの1日の支援経過を手書きしており、1人につき15分／日×30日である。
職員間の情報伝達において、ノートに書き見返して、時には転記したりしている。1人につき5分／日×30日である。
請求業務は、実績の入力、関係機関への計画書や報告書の作成をしている。1人につき3分／日×30日である。

② ICT機器等導入後の業務時間内訳

業務内容	業務従事者数	発生件数		C.1件当たりの 平均処理時間	年間業務時間 D (B×C)	1人あたり 業務時間 (D／業務従事者数)	備 考
		A.ひと月当たり 発生件数	B.年間発生件数 (A×12)				
①支援記録の作成	10人	3件	36件	360分	216時間	22時間	
②職員間の情報伝達・情報共有	10人	3件	36件	90分	54時間	5時間	
③請求業務	10人	3件	36件		0時間	0時間	
			0件		0時間		
			0件		0時間		
		9件	108件	450分	270時間	27時間	

※「具体的な業務内容」については、①支援記録の作成、②職員間の情報伝達・情報共有、③請求業務、④勤怠管理、⑤シフト表作成、⑥給与業務、⑦その他から選択してください。
なお、「その他」を選択した場合には、「備考欄」に、業務内容を記載してください。

以下の※1及び※2については、ICT機器等導入前の実際の業務状況に即した算出をお願いします。

<※1>A. ひと月当たり発生件数の算出方法

ご利用者さんが3人のため

<※2>C. 1件当たりの平均処理時間の算出方法

ご利用者1人あたりの1日の支援経過をデータ化できることは仕組化した。1人につき12分／日×30日である。
職員間の情報伝達において、手書きを減らしデータで入力し、転記しやすくなった。また家族等の外部とタブレットを使用したLINEを使用したことで、電話の時間減少や言った言わないの記録についても簡素化された。1人につき3分／日×30日である。
請求業務は、デバイスが増えたことで待ち時間が減り、すぐにネットに繋がりが作業できるようになった。1人につき2分／日×30日である。

年間業務時間数削減率 (%)

34.8%

※以下のICT機器等導入前・後の作成文書量は、該当する文書がある場合に記載してください。

③ ICT機器等導入前の作成文書量

作成文書	作成文書量	
	A.ひと月当たり	B.年間作成文書量 (A×12)
支援記録文章	90ページ	1,080ページ
		0ページ
		0ページ
	90ページ	1,080ページ

④ ICT機器等導入後の作成文書量

作成文書	作成文書量	
	A.ひと月当たり	B.年間作成文書量 (A×12)
支援記録文章	60ページ	720ページ
		0ページ
		0ページ
	60ページ	720ページ

年間作成文書量削減率 (%)

33.3%

(4) ICT機器等の導入効果

① 事業所におけるICT機器等導入の推進方法

ICT化に不慣れや苦手意識を持っている職員もいるため、社内全体でICT係を発足して現場の声を聞いたり、デジタル中核人材の研修を受講して課題に取り組んだり、まずは代表となる職員から進めていった。

※事業所において、ICT機器等の導入をどのように進めたか（事業所内の推進体制、外部への相談など）を記載してください。

また、事業所にICT機器等の導入にあたり工夫した点、苦労した点がありましたら、その点も記載してください。

②ICT機器等の導入による業務の変化（複数選択可）

情報端末導入による効果	
☒	1 支援記録の作成に要する時間が減った。
☐	2 支援現場や外出先で支援記録の作成ができるようになった。
☐	3 インカム等の導入により、職員間の情報伝達や職員の移動負担が軽減した。
☐	4 利用者の情報を一元管理できるようになった。
☐	5 その他の効果があった。
☐	6 効果がなかった。

※「その他の効果があった」を選択した場合には、その内容を記載してください。

--

ソフトウェア導入による効果	
☐	1 支援記録の作成に要する時間が減った。
☐	2 支援現場や外出先で支援記録の作成ができるようになった。
☐	3 利用者の情報を一元管理できるようになった。
☐	4 記録業務、情報共有業務、請求業務を一気通貫で行えるようになった。
☐	5 勤怠管理、シフト表作成等の業務を一気通貫で行えるようになった。
☐	6 その他の効果があった。
☐	7 効果がなかった。

※「その他の効果があった」を選択した場合には、その内容を記載してください。

--

③ICT機器等の導入による業務効率化及び職員の業務負担軽減の状況

デバイスが増えたことで、職員同士での記録をする待ち時間が減り、心理的抵抗が少なくなった。またICT化するメリットを少しずつ感じたことで、デバイスに触ってみようと挑戦する心が生まれた。

※ICT機器等の導入により、どのような業務改善ができ、どのような業務効率化が図られたのか、また、職員の業務負担軽減にどのような効果があったのか、具体的に記載してください。

④ICT機器等の導入による業務効率化で確保できた業務時間の活用方法

更に、ICT化できないかを考えるようになり、ソフトウェアのデモに申し込んだり、手書きをデータ化できないか話し合うようになった。

※ICT機器等の導入により、業務効率化で確保できた職員の業務時間について、他のどのような業務に活用できたかなど、具体的に記載してください。

(5) ICT機器等の導入による費用面での効果

ICT機器等の導入による費用の縮減

有

※ICT機器等の導入による費用の縮減が「有」の場合、以下についても回答をお願いします。

縮減額（円）	20,000円
職員の賃上げ等への充当	無
その他職場環境の改善への充当（※1）	有
サービスの質の向上に係る取組への充当（※2）	無

（※1）「その他職場環境の改善への充当」の内容について、具体的に記載してください。

今使っているソフトウェアだけでなく、業務改善になるものがあれば、追加したり変更したりしようと考えている

（※2）「サービスの質の向上に係る取組への充当」の内容について、具体的に記載してください。